

2010

広報

おばま 4

《表紙》

野代区の農家組合員が地元
に設置された獣害防止柵の点
検作業を行い、倒木や動物に
よって損傷した箇所をていね
いに補修。その後、区民が野
代ふれあい会館に集まり、鳥
獣害対策室の職員から集落内
の餌場を無くすなど、地元集
落でできる獣害対策を学びま
した。

(3月14日)

【特集】平成 22 年度 当初予算

平成22年度 当初予算

平成22年度の当初予算が決まりました。一般会計は、景気低迷で市税収入の減収が見込まれますが、国や県の交付金などを活用し、137億5,300万円、前年度比0.6%の減と昨年度とほぼ同規模としました。

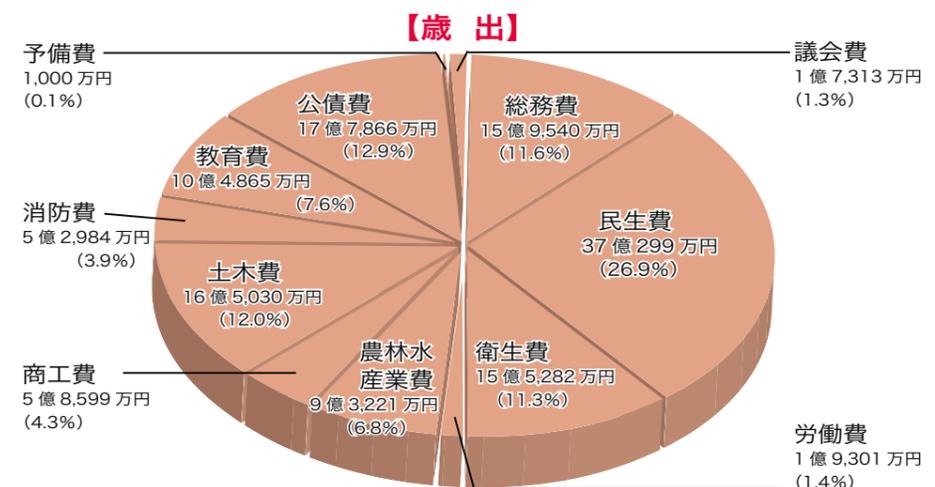
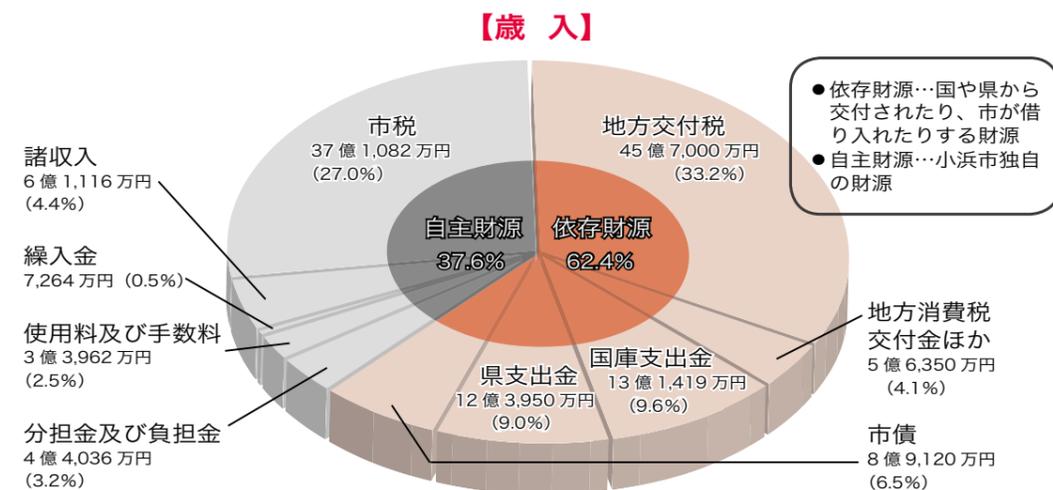
持続可能な健全財政の確立のため、人件費や建設費、新たな借金は抑制しながら、将来に向けたまちづくりに向けて、ソフト事業を中心に細かく予算付けを行いました。限られた財源を効果的、重点的に配分したメリハリのある予算とし、財政調整基金（貯金）を取り崩すことなく編成しました。

特別会計の合計は、87億5,389万円で前年度比12.3%の減、企業会計（水道事業会計）は8億5,487万円で前年度比7.2%の減となりました。

* 端数調整をしているため、会計別の合計額と予算総額に差があります

■問い合わせ 財政課 ☎内線 333

一般会計 137億5,300万円



歳入は、景気低迷による市税の減少が見込まれます。歳出では、社会保障関係経費をはじめ、公共下水道事業などの特別会計への繰出金や公立小浜病院組合への負担金が増加し、借金の返済も平成二十三年度をピークに高い水準で推移します。このことから、今後数年間は厳しい財政状況が続くと予測されます。

このらを踏まえ、第四次行政改革大綱や中期財政計画により人件費や建設費の抑制、新たな借金の抑制を着実に実行するとともに、事業評価に基づき四十七事業の整理統合を進めました。

また、市長マニフェストを着実に推進するため、新たに「予算特別枠」を設けて、観光、産業、福祉、人づくり関連のソフト事業を中心とした予算を盛り込み、子ども手当や地震防災マップ作成などもあわせて、四十一事業を新規事業として立ち上げました。

さらに、現在の厳しい経済情勢を踏まえ、国の基金事業を積極的に活用した地元雇用対策や公営住宅の建設、小浜西インターの整備、保育園や中学校の耐震工事などの建設事業、平成二十一年度三月補正のきめ細かな修繕事業を含めた

平成22年度 会計別当初予算

	平成22年度	平成21年度	増減率	
一般会計	137億5,300万円	138億3,433万円	▲0.6%	
特別会計	87億5,389万円	99億8,304万円	▲12.3%	
内訳	国民健康保険	29億9,412万円	29億8,902万円	0.2%
	老人医療	248万円	802万円	▲69.1%
	後期高齢者医療	3億6,532万円	3億5,845万円	1.9%
	介護保険	28億3,868万円	28億1,357万円	0.9%
	簡易水道	8,331万円	9,166万円	▲9.1%
	下水道	19億3,648万円	31億1,446万円	▲37.8%
	農業集落排水	4億5,914万円	5億1,392万円	▲10.7%
	漁業集落環境整備	5,238万円	6,659万円	▲21.3%
	駐車場	2,196万円	2,732万円	▲19.6%
	加斗財産区	3万円	3万円	0%
企業会計	8億5,487万円	9億2,129万円	▲7.2%	
内訳	国民宿舎	0円	7,820万円	皆減
	水道	8億5,487万円	8億4,309万円	1.4%
合計	233億6,176万円	247億3,866万円	▲5.6%	

総務費
(課税徴収、防災、戸籍事務など)
49,788円

民生費
(障害者、高齢者、児童の福祉など)
115,560円

衛生費
(環境保全、ごみ処理など)
48,459円

農林水産業費
(農業、林業、水産業の振興など)
29,092円

一般会計予算を市民1人当たりになると**429,192円**で、目的別内訳の主なものは次のとおりです（人口32,044人 3月1日現在）

商工費
(商工業の振興、観光事業など)
18,287円

土木費 (道路、河川、公園の整備や維持管理など)
51,501円

教育費 (学校教育、社会教育、体育施設の維持管理など)
32,725円

公債費
(借金の返済)
55,507円

